

# 世界平和へ協働を

## イスラエル大使ら講演

社大で  
雲一  
出フ

世界の恒久平和について考える「神有月 和譲」平和フォーラムがこの

互いに与え合って新たなものを生む「和譲」の精神について考えた。

ほど、出雲市大社町の出雲大社で開かれた。エリ・コーヘン駐日イスラエル大使の「中東和平」を

人間自然科学研究所（松江市乃木福富町、小松昭夫理事長）が主催。

あり、来場者百二十人が、和や調和の追求を引き

コーヘン大使は、武士道の精神から「内なる平和」を求め、

合いにし、隣国ヨルダンなどの協働について言及。外交史を振り返りながら「武力ではなく、精神や文化、仲間意識を強める力が平和をもたらす。一人一人が常に平和を求める主体的行動が大切。力を合わせて協働を」と呼び掛けた。

また、穀物や野菜を中心にした食生活で現代病を予防するマクロビオティックの普及に取り組み久司道夫さんが「食」をテーマに講演。地球温暖化など食を取り巻く問題に触れ、心を穏やかにする菜食主体の日本の伝統食の普及やエネルギーを見直すことの必要性を説いた。



和譲の精神や平和について考えた「神有月 和譲平和フォーラム」